



2021年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社 タムラ製作所
代 表 者 名 代表取締役社長 浅田 昌弘
(コード番号 6768 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 03-3978-2031

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年10月22日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想と本日講評の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月通期連結業績予想と実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 72,500	百万円 1,500	百万円 2,000	百万円 450	円 銭 5.48
実績値(B)	73,906	1,969	2,384	542	6.61
増減額(B-A)	1,406	469	384	92	—
増減率(%)	1.9	31.3	19.2	20.6	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	79,655	2,289	2,510	1,024	12.48

2. 差異の理由

当社グループに関わるエレクトロニクス市場は、巣ごもり需要を起点とした家電関連製品の高水準の需要が継続し、期の後半では産業機械関連の受注が急速に高まるなど、全般的に回復基調で推移いたしました。その結果、当社が2020年10月22日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想に対して、全ての事業セグメントにおいて売上が予想を上回り、営業利益、経常利益も、それぞれ予想を上回る結果となりました。また、新工場建設に伴う投資奨励金や投資有価証券売却益などにより、5億8千8百万円の特別利益が発生いたしました。一方で、原材料価格の上昇傾向、米中間での対立激化など、今後の不確実な経営環境を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を行った結果、繰延税金資産7億5百万円を取り崩すこととなりました。その結果、経常利益増加や特別利益計上の影響を打ち消すこととなり、親会社株主に帰属する当期純利益は、業績予想に対してわずかな上振れとなりました。

以 上